

高田英樹

ダンテ・ボッカッチョ・マルコポーロ そして 東方



図1 フィレンツェ・サンタ・マリーア・ノヴェッラ教会スペイン礼拝堂壁画
(アンドレーア・ディ・ボナイウート作、c. 1365-68)

①ダンテ ②ペトラルカ ③ボッカッチョ (またはマルコ・ポーロ) ④ラーボ・テデスコ (彫刻家) (またはニコロ・ポーロ) ⑤ジョット ⑥チマブエ (またはマッテオ・ポーロ) ⑦ベアトリーチェ (ダンテ) ⑧フィアンメッタ (ボッカッチョ) ⑨ラウラ (ペトラルカ) ⑩聖ドミニコ

これは、表記のことどもについてこれまでに書いたものを纏めたものである。下記からなる。重複している部分があるが、調整することなく再録する（括弧内初出）。

一 （今号）

I ジバングの系譜

- 1 パリーゼ『雅冷やか』（「愛媛大学教養部紀要」21, 1988）
- 2 ダンテ『神曲』（同）
- 3 プレスビテル・ヨーハンネース『書簡』（「愛媛大学教養部紀要」23, 1990）
- 4 カルピニ『モンガル人の歴史』（同）
- 5 ボッカッチョ『デカメロン』（「大阪国際女子大学紀要」23-1, 1997）

II ダンテ・ボッカッチョ・マルコポーロ

- 6 マルコ・ポーロとダンテ——ダンテの沈黙をめぐって——（『池田廉教授 停年退官記念論文集』大阪外国語大学、1993）
- 7 ダンテとマルコ（『マルコ・ポーロとルスティケッロ——物語「世界の記」を読む——』近代文藝社 2016）
- 8 ボッカッチョとマルコ（同）

二 （次号）

III マルコ・ポーロの東方

- 9 ザイトン 泉州（「大阪国際大学研究論叢」23-2, 2010）
- 10 マルコ・ポーロ写本（同 24-1, 2010）
- 11 カンバルク 大都（同 24-2, 2011）
- 12 ジバング 日本国（同 24-3, 2011）
- 13 写本たち（『マルコ・ポーロとルスティケッロ——物語「世界の記」を読む——』近代文藝社 2016）
- 14 旅と書（同）

IV ゴグマゴグ・ハイトン・オドリクス

- 15 ゴグ・マゴグとモンゴル（「大阪国際女子大学紀要」19, 1993）
- 16 ハイトン『東方史の華』（「大阪国際女子大学紀要」21-1, 1995）
- 17 オドリーコ・ダ・ポルデノーネの東方（「大阪国際大学研究論叢」18-1, 2004）

（ほぼ初出どおりの再録であるが、若干手を入れたところがある。新たに加えた註は [] に入れ（*）を付ける。図版および写本は全て今回新たに加えたものである。）